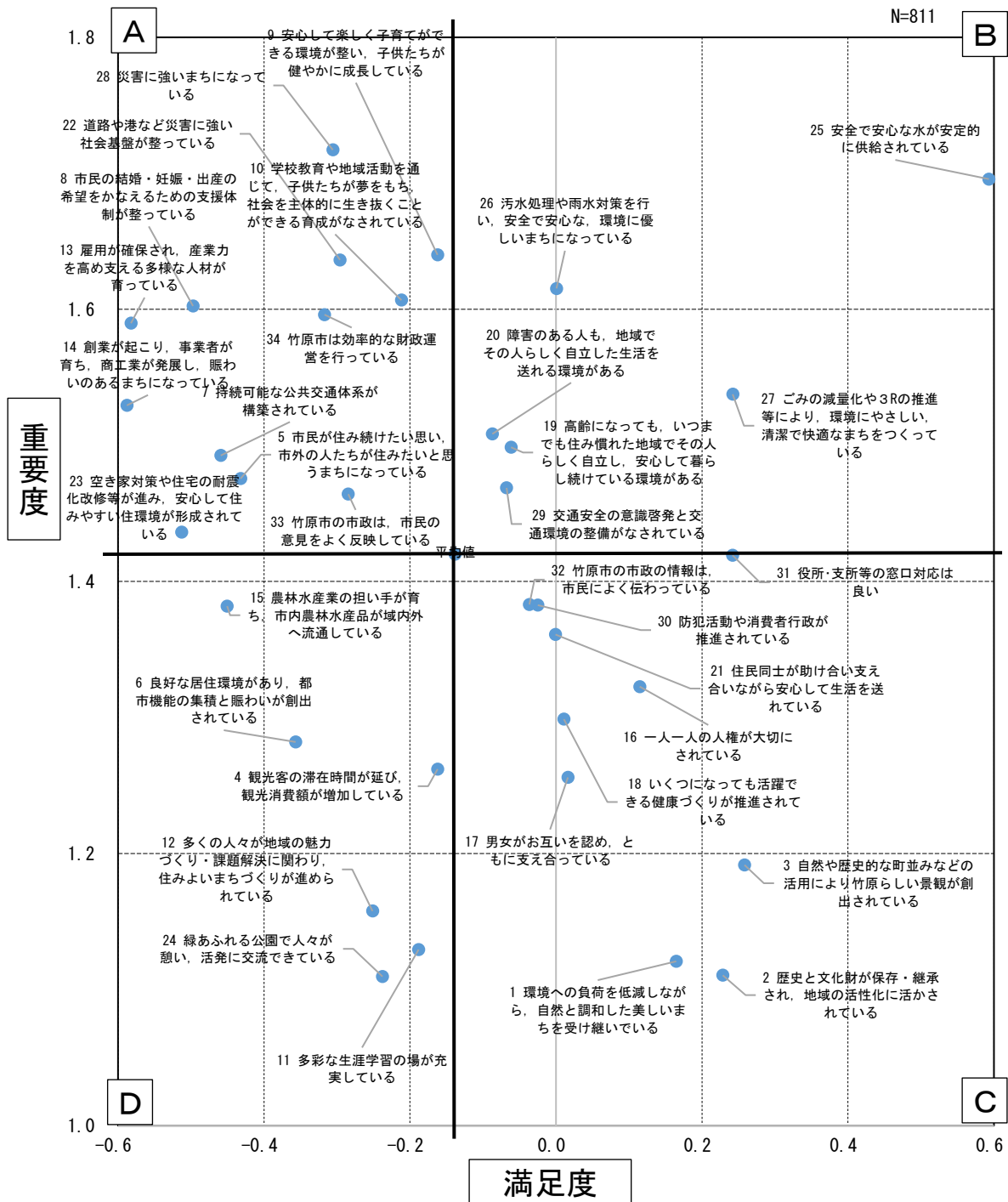


(8) 竹原市で取り組んでいる分野別の満足度・重要度について

竹原市で取り組んでいる暮らしに関する34分野について、重要度と満足度の回答結果を得点化し、横軸を満足度、縦軸を重要度とする相関図を作成し、満足度・重要度の全分野平均値で区切られた4領域により、各分野の竹原市における位置づけを確認した。

各分野の位置づけは、A領域（重点化・見直し領域）12分野、B領域（現状維持領域）6分野、C領域（現状維持・見直し領域）10分野、D領域（改善・見直し領域）6分野となった。

図1 満足度・重要度の相関図



A領域では、「28 災害に強いまちになっている」の重要度が全分野で最も高いものの、満足度はやや低いことが見受けられる。

B領域では、「25 安全で安心な水が安定的に供給されている」の重要度・満足度の高さが際立っている。

C領域では、「31 役所・支所等の窓口対応は良い」の重要度はそれほど高くないものの、満足度は高いことが見受けられる。

D領域では、「24 緑あふれる公園で人々が憩い、活発に交流できている」の重要度が全分野で最も低く、満足度も低いことが見受けられる。

表1 各分野の領域の位置づけ

<u>A領域（重点化・見直し領域）</u>	<u>B領域（現状維持領域）</u>
<ul style="list-style-type: none"> 5 市民が住み続けたい思い、市外の人たちが住みたいと思うまちになっている 7 持続可能な公共交通体系が構築されている 8 市民の結婚・妊娠・出産の希望をかなえるための支援体制が整っている 9 安心して楽しく子育てができる環境が整い、子供たちが健やかに成長している 10 学校教育や地域活動を通じて、子供たちが夢をもち、社会を主体的に生き抜くことができる育成がなされている 2-3 商工業の振興 13 雇用が確保され、産業力を高め支える多様な人材が育っている 14 創業が起り、事業者が育ち、商工業が発展し、賑わいのあるまちになっている 22 道路や港など災害に強い社会基盤が整っている 23 空き家対策や住宅の耐震化改修等が進み、安心して住みやすい住環境が形成されている 28 災害に強いまちになっている 34 竹原市は効率的な財政運営を行っている 33 竹原市の市政は、市民の意見をよく反映している <p style="text-align: right;">12分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> 19 高齢になっても、いつまでも住み慣れた地域でその人らしく自立し、安心して暮らし続けている環境がある 20 障害のある人も、地域でその人らしく自立した生活を送れる環境がある 25 安全で安心な水が安定的に供給されている 26 汚水処理や雨水対策を行い、安全で安心な、環境に優しいまちになっている 27 ごみの減量化や3Rの推進等により、環境にやさしい、清潔で快適なまちをつくっている 29 交通安全の意識啓発と交通環境の整備がなされている <p style="text-align: right;">6分野</p>
<u>D領域（改善・見直し領域）</u>	<u>C領域（現状維持・見直し領域）</u>
<ul style="list-style-type: none"> 4 観光客の滞在時間が延び、観光消費額が増加している 6 良好な居住環境があり、都市機能の集積と賑わいが創出されている 11 多彩な生涯学習の場が充実している 12 多くの人々が地域の魅力づくり・課題解決に関わり、住みよいまちづくりが進められている 15 農林水産業の担い手が育ち、市内農林水産品が域内外へ流通している 24 緑あふれる公園で人々が憩い、活発に交流できている <p style="text-align: right;">6分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 環境への負荷を低減しながら、自然と調和した美しいまちを受け継いでいる 2 歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている 3 自然や歴史的な町並みなどの活用により竹原らしい景観が創出されている 16 一人一人の人権が大切にされている 17 男女がお互いを認め、ともに支え合っている 18 いくつになっても活躍できる健康づくりが推進されている 21 住民同士が助け合い支え合いながら安心して生活を送れている 30 防犯活動や消費者行政が推進されている 31 役所・支所等の窓口対応は良い 32 竹原市の市政の情報は、市民によく伝わっている <p style="text-align: right;">10分野</p>